



2021年7月14日

各位

会社名 株式会社サイバー・バズ
 代表者名 代表取締役社長 高村 彰典
 (コード番号：7069 東証マザーズ)
 問合わせ先 執行役員 CFO 山田 洋輔
 (TEL. 03-6758-4738)

通期連結業績予想の修正及び通期個別業績予想の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年11月11日に公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。また、当社は通期個別業績予想を公表しておりませんが、2021年9月期の通期個別業績予想と前期実績値に差異が生じる見込みであるため、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2021年9月期 通期連結業績予想数値の修正 (2020年10月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,500	百万円 260	百万円 260	百万円 180	円 銭 47.56
今回修正予想 (B)	3,350 ～3,500	50 ～100	50 ～100	0 ～50	0.00 ～13.22
増減額 (B-A)	△150 ～0	△210 ～△160	△210 ～△160	△180 ～△130	
増減率 (%)	△4.3 ～0.0	△80.8 ～△61.5	△80.8 ～△61.5	△100.0 ～△72.2	
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	2,996	215	204	168	45.72

2. 2021年9月期 通期個別業績予想と前期実績値との差異 (2020年10月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (2020年9月期)	百万円 2,823	百万円 194	百万円 183	百万円 360	円 銭 97.82
今回発表予想 (B)	3,325 ～3,475	80 ～130	80 ～130	20 ～70	5.29 ～18.51
増減額 (B-A)	501 ～651	△114 ～△64	△103 ～△53	△340 ～△290	
増減率 (%)	17.8 ～23.1	△58.8 ～△33.0	△56.3 ～△29.0	△94.4 ～△80.6	

3. 修正及び差異の理由

(1) 連結業績

当社は、今後も成長が期待できるソーシャルメディアマーケティング事業（以下、「SMM事業」という。）に注力しつつ、中長期的な企業価値向上を目的に、将来の事業成長に向けた積極的な投資を実施する方針を掲げております。

当期の通期連結業績予想は、SMM 事業の既存サービスに加えまして、同事業の新規サービスである SaaS 型ツール (Owgi) 及び新規投資事業として位置付けている Direct to Consumer 事業 (以下、「D2C 事業」という。)を含んでおります。このうち、既存の SMM 事業については、新型コロナウイルス感染症による広告主の広告費全般の見直しの影響が 2021 年 3 月まで続くとは想定しておりましたが、本影響については、当初の想定通りに推移し、2021 年 4 月以降の売上には回復傾向がみられております。他方で、SaaS 型ツール及び D2C 事業において、当初想定した事業計画対比で差異が発生している状況であることを踏まえ、2020 年 11 月 11 日に公表した通期連結業績予想を修正いたします。

SMM 事業の既存サービスにおいては、インフルエンサーサービスの需要回復の遅れがあったものの、SNS アカウント運用やインターネット広告代理販売が好調に推移した結果、売上高、営業利益ともに当初予想の範囲内で推移しております。一方、SMM 事業の新規サービスの SaaS 型ツールにおいては、顧客の新規獲得が遅れた結果、売上高は当初予想対比 40%~50% 下回る見込みです。

他方、D2C 事業においては、サービスの立上げや商品開発の進捗が遅れ、売上高が当初予想対比で下回って推移している一方、商品開発コストや広告宣伝費を中心に販売費及び一般管理費が 50 百万円~60 百万円上回る見込みです。

以上の事象を鑑み、通期連結業績予想の見直しを行った結果、営業利益、経常利益、当期純利益が前回公表した業績予想を下回る見込みであるため、業績予想を修正いたします。なお、現時点におきましては、SMM 事業における 7-9 月期の受注の変動可能性及び D2C 事業の製品開発や販売状況の不確実性を鑑み、業績予想値を特定予想値からレンジ形式へ変更いたします。

(2) 個別業績

売上高は、既存の SMM 事業の成長により前期実績を上回るものの、連結業績に記載のとおり、主に新規サービスの SaaS 型ツール及び新規投資の D2C 事業の影響により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前期実績を下回る見込みです。

(業績予想について)

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上